

サイレージ材料の作り方

一 サイレージ材料の栽培は

高蛋白と、高糖分を目標にしましょう

乳牛の冬期飼料は特に高蛋白が要求されますが、それと同時に糖分の高いもの（良質の乳酸醗酵と糖分補給のため）も必要です。そしてこの目標に近づくための材料の作り方は、

(1) デントコーンは熟期の早い一代雑種に青刈菜豆の混播を

デントコーンは熟期が進みますと糖分含量が高まると共に子実もでき栄養価がグンと高まります。草量だけを狙った晩生の黄色種や、特に白色種では地帯によって出穂直後に刈取ることになり、この点不合格で、一代雑種を利用すべきです。更に蛋白を高めるためには青刈菜豆の混播が有利で、同時に増収も期待できます。

(2) 牧草はまめ科いね科混播のもの

牧草サイレージは多くの場合糖蜜を添加して乳酸醗酵を助長しますから、まめ科牧草が多くとも心配ありません。蛋白を高めるために混播牧草を利用しましょう。

(3) 青刈えん麦にはベッチとイタリアンライの混播を

青刈えん麦五ノ六ギ、イタリアンライ一ギ、ベッチ四ノ五ギの混播が草量も栄養価も高いものになります。

二 デントコーンほどどんな品種がよいか

次の表をご覧の上、あなたの地帯に最もよいもの（草量、子実が多く倒伏せず、葉の病気に罹り難いもの）をお選び下さい。

◎北海道向一代雑種

晩生 ジャイア ンツ	復交八号 復交五号	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	切込み切込み まで必す 要な積算温 度	草丈	子実の 量	倒伏 易	葉の 病害	摘 要
													25	25	25	25	25	

◎東北地方向の一代雑種

T・C五号 長交一六一号 長交二〇二号 長交二二七号	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

◎青刈燕麥やイタリアンライグラスのような
葉の多いものでサイレージを作りましょう

葉の多いものほど栄養価が高いが、サイレージ材料としての刈取適期は出穂始め頃です。葉の多い品種としては

- 燕麥……豊葉、雪印一〇二号、太豊
- イタリアン
- ライグラス
- マンモス
- イタリアン

◎デントコーンの欠株には

ソルゴーの作り方

道央から東北地方の乾燥地・強風地帯に向く

播種期はデントコーンより一週間くらい遅まき、畦幅六〇センチ、肥料はデントコーンの三割〜五割増播種量一〇センチあたり二〜三ギの条はん、発芽後一ヵ月位は雑草にまけぬように、そのあとは毎日目に見えるように伸び三〜四センチにもなりますが、倒れませぬ。

草量特に葉の多い、ひまわりの追播を

春先の乾燥、強風、針虫、鳥害等で、デントコーンには相当の欠株ができます。一割の欠株もありますと一〇日分の飼料減収となります。そしてこの欠株にデントコーンの追まきでは貧弱な生育で減収を免れませんが、生育の旺盛なひまわりの追まきはよく減収を防止できます。デントコーンの一番除草時に欠株に一〜二粒追いまきしますと、デントコーン刈取期には開花始めの葉の多いひまわりとなり、同時に切込むと家畜の嗜好にも適し、栄養価も未熟のデントコーンよりは優ります。

特に草量が多く、葉の多く大きな優良品種、大葉多葉性ひまわりを一〇ギのデントコーンに一〇〇ギ位補播用として準備しましょう。

◎青刈菜豆は大葉で

晩生多収のベキンまたはサットンスペシール

これらの青刈菜豆はデントコーンの刈取期まで落葉しません。デントコーンの草丈が二〇〜三〇センチの時に株元に二〜三粒まきつけます。刈取り時期にはコーンによくからみつき葉も枯れずに青葉がドッサリつき、栄養が高くなりやす。

◎夏期高温になる乾燥地や、強風地帯では、

ソルゴー(ろぞく、もろこし)を

道央以南や東北地方の乾燥、強風地帯でデントコーンの倒伏するところでは、特に雪印ハイブリッド、スイートソルゴーはデントコーン以上の多収が得られます。